

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	40	利用者さんは食べることが大好きで、食事そのものは楽しみにされている。しかし飲み込みが困難な方も7名と多く、食材の形態もミキサー食、刻み食、とろみ食と様々な対応が必要であり、食事を無事に終えることが中心になっている。また利用者同士の関わりの支援も不十分である。(空)	一人一人が居心地の良い時間と空間になり、食事が楽しみになるだけでなく、共に暮らすことの良さを感じることができる。	BGMをかける。時には席替えをし、他利用者同士の交流を図る。食事前に献立の説明を写真等の視覚に訴えるものを利用し、ごちそうのイメージを作る。利用者の嗜好を確認し、献立の工夫をする。その時々が特別と感ぜられるようデザートや甘い物の充実を図る。一人一人に合った食事の提供。食事時間が長くなって飲み込みが困難にならない工夫と栄養の確保のための支援。	6 か月	
2	40	利用者同士の関わりの中で、本人の思い通りの席に着けなかったり、部屋の狭さの為心を砕いて話すこともできにくく笑顔もない。また共同生活のためのゆったりとした利用者の思いに沿った支援が十分でなく、楽しい食事時間になっていない。(風)	一人一人が居心地の良い時間と空間になり、食事が楽しみになるだけでなく、共に暮らすことの良さを感じることができる。	話題の提供の工夫と各テーブルの声かけの充実を図る。また一つのテーブルから全員に会話が弾むよう話題作りをする。BGMをかける。盛り付けや容器、入れ物を工夫し、雰囲気を楽しむことができるよう支援する。デザートの充実を図り、ゆったりと食事を終えることができる工夫をする。	6 か月	
3	6	常時の見守りは困難で、ベッド柵を外すと下肢が落ちていたりずり落ちがあり、ベッド柵の取り付けにより転倒防止を図っている方がいる。	身体拘束をしないケアをめざし、対応策を講じることができる。	毎月のモニタリング時、対応策を検討する。3か月ごとに家族との話し合いを持ち、家族にも身体拘束をしないケアの理解を求める。	12 か月	
4	23	利用者との関係が希薄で、コミュニケーション能力が十分とは言えず、利用者の思いを聞くことができていない。	利用者とのコミュニケーションがとれ、一人一人が満足のできる生活になる。	職員全員が日々利用者全員と会話できたかどうかチェックシートで確認する。(月初めの1週間～) 利用者に感謝するところを見つけるシートを作成し、掲示し話題にする。職員は昼食時、10時、15時は常に別テーブルに参加し、利用者全員と一緒に過ごすことができるよう時間を作る。	12 か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他()
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他()
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他()